



特別区全国連携プロジェクト @Zenkoku_Renkei

公式Twitterはじめます!

プロジェクトについての豆知識やイベント情報を発信するほか、連携している市町村のイベント情報なども発信します。

よろしければ、
フォローを
お願いします!



TOPIC <

～被災自治体への23区連携対応～ 令和2年7月豪雨に係る被災自治体への支援

令和2年7月

西日本から東日本、東北地方の広い範囲で発生した集中豪雨は、各地で大河川の氾濫が相次ぐなど大きな被害をもたらしました。特別区は、特に被害が大きかった県(山形県・福岡県・熊本県・大分県)に対して、23区共同で復興支援金を提供しました。

これまでも東京23区では、災害の発生に際して、職員派遣、支援物資、復興支援金の提供等を行ってまいりました。今後も、特別区全国連携プロジェクトの趣旨を踏まえ、23区の力を結集した支援を継続していきます。



▲御礼状を多数いただきました。

～特別区が連携して対応した主な災害支援～

- 東日本大震災(平成23年3月11日)
- 平成28年熊本地震(平成28年4月14～16日)
- 平成30年7月豪雨(平成30年7月)
- 平成30年北海道胆振東部地震(平成30年9月6日)
- 令和元年房総半島台風(令和元年9月)
- 令和元年東日本台風(令和元年10月)

EVENT <

～令和2年度全国連携講演会～ 新しい生活様式下での関係人口の創出・拡大と地域の魅力の伝え方

令和3年2月10日(水) 14時00分～17時00分

新型コロナウイルスを想定した新しい生活様式下での関係人口の創出・拡大に向けた、考え方や方策を考えるとともに、地域が選ばれるためにその魅力の伝え方について考える講演会を開催します。お申し込み・詳細は公益財団法人特別区協議会ホームページをご覧ください。

<http://www.tokyo-23city.or.jp/>

【講師】

京都大学こころの未来研究センター教授 広井 良典氏
早稲田大学マニフェスト研究所招聘研究員 佐久間智之氏
【申込期限】 令和3年1月25日(月)

EVENT <

～令和2年度全国連携展示～

広島 瀬戸内の恵み“しまなみ” 大自然と伝統の“やまなみ”

令和2年11月13日(金)～12月24日(木)

広島県町村会との連携事業として、広島県全9町の様々な魅力を紹介する展示を東京区政会館で開催しました。



※やまなみ・しまなみは当展示上の表現で、行政上の区分ではありません。

EVENT <

～令和2年度全国連携講演会～ 新しい生活様式下での関係人口の創出・拡大と地域の魅力の伝え方

令和3年2月10日(水) 14時00分～17時00分

新型コロナウイルスを想定した新しい生活様式下での関係人口の創出・拡大に向けた、考え方や方策を考えるとともに、地域が選ばれるためにその魅力の伝え方について考える講演会を開催します。お申し込み・詳細は公益財団法人特別区協議会ホームページをご覧ください。

<http://www.tokyo-23city.or.jp/>

【講師】

京都大学こころの未来研究センター教授 広井 良典氏
早稲田大学マニフェスト研究所招聘研究員 佐久間智之氏
【申込期限】 令和3年1月25日(月)

TOPIC <

広域共同計画の事業を支援しています

「北海道十勝地域×東京台東区・墨田区連携～大地のタカラ×江戸のチカラ 関係人口創出プロジェクト～」(北海道十勝地域(16町2村)、台東区、墨田区)・「京都やましろ地域×東京しぶや連携～和文文化×多文化 関係人口創出プロジェクト～」(京都やましろ地域(5市6町1村)、渋谷区)を支援しています(詳細はHP参照)。

両プロジェクトは、国の地方創生推進交付金を活用し、複数の自治体と複数の特別区が連携事業を行うことで、企業間・住民間等の多様な「つながり」を構築し、関係人口の創出・拡大を目指すものです。



各自治体の皆様へ 会員登録のご案内

特別区全国連携プロジェクトホームページは、全国自治体の皆様を対象に、会員専用のホームページを用意しております。会員登録をいただきますと、掲示板機能を使った東京23区との連携事業に関する情報交換や、本ホームページ上での貴自治体情報のPRが可能になります。
※本ホームページの登録・利用は無料です。公益財団法人特別区協議会 事業部事業推進課

問い合わせ

特別区全国連携プロジェクトに関するお問い合わせ
03-5210-9747

特別区長会事務局 調査第1課 全国連携プロジェクト担当

特別区全国連携プロジェクトの会員専用ホームページ、会員登録についてのお問い合わせ
03-5210-9067

東京23区 TOKYO 23 CITY

全国連携NEWS

日本を元気に!
23区から全国へ
全国から23区へ



vol. 3

発行・編集: 特別区長会・公益財団法人特別区協議会
発行: 令和2年12月28日

このNEWSは、東京23区が取り組む「特別区全国連携プロジェクト」を全国の多くの皆様に向けていただくためのPR情報紙です。本紙は、次のHPからご覧いただけます。
特別区全国連携プロジェクトHP <http://collabo.tokyo-23city.or.jp/>
特別区長会HP <http://www.tokyo23city-kuchokai.jp/>
(特別区長会とは、東京23区間の連携を図り、特別区政の円滑な運営と特別区の自治の発展に資するため、昭和22年5月1日に設立された特別区23区長が組織する任意団体です。)

特別区 全国連携プロジェクトとは?

東京を含む全国各地域がともに発展・成長し、共存共栄を図ることを目的に、産業、観光、文化、スポーツなど様々な分野で特別区(東京23区)と全国の各地域が連携・交流事業を行う取り組みとして、平成26年9月に特別区長会が立ち上げたプロジェクトです。

新型コロナウイルス感染症拡大以降、自治体の仕事は大きく変わりました。自治体間連携に関する事業も、これまでと同じように進めるのは難しい状況だと思えます。このような厳しい状況の中でも、自治体間連携に取り組んでいる、または、取り組まなければならない、自治体及び関係する皆様に向けて、広井良典教授よりメッセージをいただきました。ご一読いただけますと幸いです。

「グリーン・リカバリー」と「持続可能な相互依存」

京都大学こころの未来研究センター教授 広井 良典氏

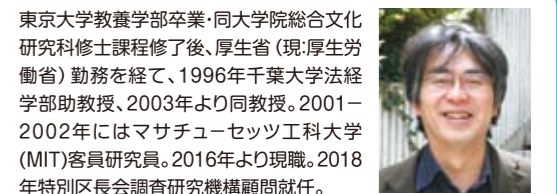
新型コロナウイルスの災禍で世の中が一変したことは言うまでもありません。こうした中、欧州では「グリーン・リカバリー」という理念のもと、「環境」や「持続可能性」を重視した政策と一体にコロナ禍からの復興を図っていく動きが活発になっています。

思えば、今年のもう一つの大きな出来事として、豪雨などを含む自然災害が多発したことがあり、夏の暑さが忘れがたいほどのものだったことも思い出されます。そして、こうした気候変動と今回のコロナ禍は、実は深いところでつながっているという認識が、上記の「グリーン・リカバリー」の考えのベースにあります。つまり、急速なグローバル化や資源消費の拡大等の中で、人間と自然あるいは生態系との間のバランスが崩れ、それがパンデミックや気候変動の根本原因になっているという把握です。

先ほど「持続可能性」という点にふれましたが、顧問を務めている特別区長会調査研究機構(2018年度創設)において、研究プロジェクトの一つである、「『持続可能な開発のための目標(SDGs)』に関して、特別区として取り組むべき実行性のある施策について」という研究会のリーダーを務めています(本テーマは荒川区の提案)。特別区の職員の方々にも参加いただく形で熱心な検討が進んでいますが、この研究会で大きなテーマとなっているのが、「持続可能性」をめぐる、特別区あるいは東京と全国の基礎自治体との連携です。

実はこの研究プロジェクトの一環として、昨年度に特別区を対象に行ったアンケート調査では、SDGsに対する認識や対応がまだ不十分で、限られた範囲にとどまっていることが明らかになりました。つまり「持続可能性」というテーマが、まだ特別区の中で十分には浸透していないことが示されたわけですが、しかし実際には、東京における「持続可能性」はかなりの多くの課題に直面しています。

具体的には、研究会の中で私は「4つの持続可能性」という点を指摘し、すなわちそれらは①人口、②財政・社会保障、③地域、④



東京大学教養学部卒業・同大学院総合文化研究科修士課程修了後、厚生省(現:厚生労働省)勤務を経て、1996年千葉大学法経学部助教授、2003年より同教授。2001～2002年にはマサチューセッツ工科大学(MIT)客員研究員。2016年より現職。2018年特別区長会調査研究機構顧問就任。

環境・資源の持続可能性ということですが、これらのいずれについても特別区の状況は決して安泰とは言えません。たとえば①については、東京の出生率は概して低く、地方からの若年世代を中心とする人口の流入によって支えられています。また④については、東京は食糧やエネルギーを地方から比較的安価な値段で買い取ることで成り立っています。

つまり、このように「持続可能性」という観点から見ると、東京あるいは特別区と全国の自治体はまさに「相互依存」の関係にあり、しかもそうした関係を「持続可能な相互依存」にしていこうとすることが、特別区と全国の自治体双方にとって必須の課題と言えます。言い換えれば、そうした関係をいわゆる「ウィン・ウィン」なものにしていくことが何より求められているわけですが、ちなみに上記の研究プロジェクトで今年度行ったアンケート調査では、昨年度に比べてSDGsに関する特別区の関心が相当程度高まっているという結果が示されています。

コロナ禍からの「グリーン・リカバリー」という考え方から始め、SDGsあるいは「持続可能性」という視点からの関連で、特別区と全国の自治体との「持続可能な相互依存」という考え方について述べましたが、特別区全国連携プロジェクトは、まさにこうした時代の要請を文字通り先駆的に先取りしたものであり、各種の取り組みの発展を心より祈念しています。

特別区全国連携プロジェクト [ホームページ]

<http://collabo.tokyo-23city.or.jp/>

最新情報や
イベント情報などを随時更新!



パソコン・スマートフォン・タブレットからご覧いただけます

全国連携 Q検索



特別区全国連携プロジェクトの事業実施にあたっては、特別区長会と公益財団法人特別区協議会が連携して取り組んでいます。

自治体間連携に関する特徴的な事業・取り組み

東京23区
全国連携NEWS

～全国各地で連携事業が実施されています～

新型コロナウイルス感染症拡大以降、例年どおりの取り組みを行うのが難しい状況の中、各自治体では、オンラインの活用など「新しい生活様式」を踏まえた事業も展開されています。

今回は、「新しい生活様式」を取り入れた自治体間連携事業などを進めている、全国各地の自治体とその取り組みの一部を紹介합니다。

東京都港区 minato

オンライン
開催

「里山・芋煮交流会」のオンライン開催

区民の方などを対象に、オンラインによる山形県の郷土料理「芋煮」の調理方法を学べる講座と実際に調理した芋煮を食べながらの参加者同士の交流会を開催しました。

オンラインという新たな手法で区民の方々と山形県置賜地域の方をつなげることで、山形県置賜地域の暮らしや食に触れることができ、相互理解の促進を図ることができました。



東京都渋谷区 shibuya

オンライン
開催

第43回渋谷フェスティバル オンライン開催



今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により代々木公園での開催は中止となりましたが、「集まらなくても集まれるー新たなつながりをひろばから生み出そう」をテーマに加え、特設サイトを立ち上げ、地元FMラジオ局「渋谷のラジオ」とも提携し、「第43回渋谷区くみんの広場ふるさと渋谷フェスティバル オンライン」を開催しました。当日配信した区内団体や秋田県大館市、長崎県佐世保市等の参加自治体の紹介動画などは、一部コンテンツを除きアーカイブでご覧いただけます。



アーカイブはこちら

東京都港区 minato

一般財団法人地域活性化センターと連携協力協定を締結

港区と(一財)地域活性化センターは、区の全国各地域との連携に関するノウハウと同センターが培ってきた地方創生のノウハウを活用した取り組みを共有・実施するため、令和元年10月に連携協力協定を締結しました。

区は、民間団体の持つ知識やノウハウ、先端技術等の強みを最大限生かした全国連携の取り組みを推進しています。※東京都の自治体では初めて全国連携の推進に関する連携協力協定を締結しました。



東京都港区 minato

コロナ対策
万全

「全国連携マルシェin芝浦」の開催

港区が進める全国連携の取り組みの一環として、区民の利便性の向上や地域のにぎわいを創出するとともに、「食材」を通して、全国各地域と区民の皆さんをつなぐことを目的に実施しています。今年度は、会場に入場口に非接触型検温器や各所に消毒用アルコールを設置するなど、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を徹底して実施しました。

港区の連携自治体の生鮮野菜や特産品の販売を自治体の職員や生産者が行い、当該自治体のPRを実施することで、マルシェを通じた区民と連携自治体の人々による交流が生まれ、自治体間の関係を一層深めることができました。



東京都新宿区 shinjuku

「夏目漱石ゆかりの地」の自治体との交流・連携

新宿で生まれ、亡くなった国民的文豪「夏目漱石」のゆかりの地として、熊本県、熊本市、文京区と「文化と歴史を縁とする包括連携に関する覚書」を、愛媛県松山市と「夏目漱石をゆかりとした歴史・文化及び観光交流に関する協定書」をそれぞれ締結し、連携・交流を行っています。

新宿区夏目漱石コンクール(絵画(小学生)・読書感想文(中学生))の全国からの作品募集にもご協力いただいています。



©2010 熊本県くまモン 協力:銀座熊本館

東京都文京区 bunkyo

食めぐりスタンプラリー



文京区では交流のある自治体で生産された食材を活用し、料理・商品販売する区内飲食店等に対して補助金を交付しています。今年度は、交付決定した23店舗のうち2店舗以上を巡ると、抽選で交流都市にちなんだ食事券・物産品等が当たる「食めぐりスタンプラリー」を実施しました。東京に

いながら、地方のこだわりの食材を使ったメニューを堪能し、交流都市を知る絶好の機会となりました。(実施期間:令和2年10月1日～12月31日)

北海道東川町 higashikawa

リサイクル留学生プロジェクト

このプロジェクトでは、北海道東川町が営む日本初唯一の「公立日本語学校」において海外からの留学生を受け入れ、同校で日本の言葉・文化・社会を学んでいただき、鹿児島県大崎町にて、同町の有する「リサイクル率日本一の技術」を習得していただきます。2つの町が連携し、協働することで、日本の社会とつながりながら、世界各地で直面する資源リサイクル問題に挑戦する留学生を育て、グローバルに活躍する人材の育成に取り組みます。



(参考) <https://www.furusato-tax.jp/gcf/465>

東京都板橋区 itabashi

オンライン
開催

お届け!板橋うまいもんマルシェ

板橋区民まつり及び農業まつりでは、石川県金沢市や岩手県大船渡市などの都市交流自治体と連携し、特産品の販売を行っています。今年度は、都市交流自治体及び特別区長会と連携協定を締結した埼玉県町村会の毛呂山町・ときがわ町と連携し、板橋のいっぴんや各自治体の特産品を詰め合わせにし、全11種類のセットをオンラインで販売しました。商品販売を通して、各都市への興味・来訪のきっかけを創出するものとなりました。



東京都江東区 koto

コロナ対策
万全

五感で知る北海道「オホーツクフェア2020」

江東区と交流している北海道オホーツク15町村が、深川江戸資料館でこどもからシニアの方まで誰でも楽しめるゲームや体験、展示、特産品販売など、魅力発信イベントを開催。新型コロナウイルス国内感染者が確認され出した令和2年2月1日、2日の開催であり、用心のため消毒用アルコールを会場入口と各物販テーブルに配置しての開催となりましたが、今後はこうした予防対策が当たり前になる。



東京都品川区 shinagawa

品川区子どもの食の支援

令和元年9月5日、特別区全国連携プロジェクトをきっかけに交流を深めた福井県坂井市と、連携協定を締結しました。新型コロナウイルス感染症の影響により、品川区のひとり親家庭等では、主食である米が不足する状況となり、また坂井市では、市立小中学校の休校により、給食用の米に余剰が生じていました。そこで、令和2年3月に、坂井市にふるさと納税すると、「思いやり型返礼品」として、坂井市産米を寄付者の元ではなく品川区のひとり親世帯等に発送する仕組みを活用し、品川区の子どもの食の支援事業との連携を図りました。(※当事業は当初目標に達したため令和2年4月6日受付終了)



北海道余市町 voichi

余市・仁木ワインツーリズムプロジェクト

全国でも最上位のワインぶどう栽培量、ワイン特区制度に裏付けられた北海道余市町及び隣町の仁木町の広域連携事業として、ワインを通じた地域の食や魅力を楽しめる各種イベントの開催や、特設ホームページの開設により、国内外への魅力発信及び一大ワイン産地としてのブランド力の向上が図られました。



(余市・仁木ワインツーリズムプロジェクトHP) <https://www.town.voichi.hokkaido.jp/wine-tourism/>

青森県平川市 hirakawa

青森りんごを産地直送!「全国交流物産展in新橋」



青森県平川市では、連携自治体である港区との交流事業として、令和元年度に「全国交流物産展in新橋」へ初参加しました。



1日約28万人が利用するJR新橋駅前のSL広場に2日間、りんご王国青森県の特産りんごを販売。産地直送のりんごのおいしさをPRしながら、青森県平川市の魅力発信を行いました。

千葉県松戸市 matsudo

都心に近く住みよいまち「やさシティ、まつど。」

松戸市では、「子育てしやすい」「緑が多く都心に近い」「健康な暮らしを支える医療体制」というポテンシャルを生かし、子育て世帯などの若い世帯が松戸を選び、高齢者と共に安心して住み続けるための施策に力を入れています。「松戸」を通じて心の安らぎの輪が広がり、皆の笑顔が輝く未来のために、地域のつながりや人と人とのつながりを大切にしたいと考えています。



東京都品川区 shinagawa

新・足摺海洋館「SATOUMI」記念水槽

しながわ水族館(品川区勝島3-2-1)では、平成30年9月7日に連携協定を締結した高知県との連携事業として、令和2年7月18日にグランドオープンした高知県立新・足摺海洋館「SATOUMI」記念水槽を展示しています。

記念水槽では、高知県近海に生息している、鮮やかな色彩のかわいいウミウシを展示しています。

